

be動詞と一般動詞

<英語の基本>

私は 太郎 です。

I am Taro.

主語 + 動詞 + ~.

私は テニスを します。

I play tennis.

主語 + 動詞 + ~.

日本語と語順がちがう！（主語は先頭で同じ）

<be動詞と一般動詞>

動詞には**be動詞**と**一般動詞**の2種類があり、**どちらか一方を使う！**
同じ文に2つ使わないこと！！

【be動詞】

am 主語がIのとき

is 主語がI, you以外の単数のとき

are 主語がyouか複数のとき

be動詞は動きのない文に使う。

(A=Bを表す文)

【一般動詞】

like(好きです) **speak**(話す)

play([スポーツなどを]する)

eat(食べる) **have**(持っている、食べる)

love(愛する) **read**(読む)

study(勉強する) **use**(使う)

know(知っている) **make**(作る) など

一般動詞は動きのある文に使う。

(種類はたくさんある。likeやloveやknowなど心や頭の中の動きにも使う。)

どっちの世界の文なのか、まず考える！

私は 生徒 です。 ⇒ 「生徒」という動きはない。be動詞の文

I **am** a student.

主語が「私は」なのでbe動詞のamを使う。

あなたは 英語を 勉強します。 ⇒ 「勉強します」は動きがある。一般動詞の文

You **study** English.

studyという一般動詞を使う。一般動詞の文なので、be動詞は使わないこと！

【be動詞（肯定文）】

I **am** Mike.

私は マイク です。

You **are** a teacher.

あなたは 先生 です。

【be動詞の否定文】

「～ではありません。」

be動詞の後ろにnot

I **am not** Mike.

be動詞

私は マイク ではありません。

You **are not** a teacher.

be動詞

あなたは先生ではありません。

【一般動詞（肯定文）】

I **like** music.

私は 音楽が 好きです。

You **speak** English.

あなたは 英語を 話します。

【一般動詞の否定文】

「～しません。」

一般動詞の前にdon't

I **don't like** music.

一般動詞

私は音楽が好きではありません。

You **don't speak** English.

一般動詞

あなたは英語を話しません。

【be動詞の疑問文】

「～ですか。」

be動詞を先頭に出す

You **are** a teacher.

be動詞

Are you a teacher?

あなたは先生ですか。

—Yes, I am. (はい、そうです。)

—No, I'm not. (いいえ、ちがいます。)

He **is** a student.

be動詞

Is he a student?

彼は生徒ですか。

—Yes, he is. (はい、そうです。)

—No, he isn't. (いいえ、ちがいます。)
(No, he's not.)

【一般動詞の疑問文】

「～しますか。」

文の先頭にDoをつける

You speak English.

Do

Do you speak English?

あなたは英語を話しますか。

—Yes, I do. (はい、話します。)

—No, I don't. (いいえ、話しません。)

They eat lunch. (彼は昼食を食べます。)

Do

Do they eat lunch?

彼は昼食を食べますか。

—Yes, they do. (はい、食べます。)

—No, they don't. (いいえ、食べません。)

こういうミスは絶対にダメ！！

I am play tennis. → amはbe動詞である。一般動詞の文に使ってはダメ！

Do you a student? → 「あなたは生徒ですか？」は動きがない。よって、be動詞の文である。be動詞が必要。Doは一般動詞の疑問文に使うルール。

I am don't study English. → study「勉強する」は一般動詞である。一般動詞の文にbe動詞を使ってはいけない。amは要らない。

be動詞の文なのか、一般動詞の文なのかははっきり区別すること。
そして、be動詞のルール、一般動詞のルールを正確に使うこと。